

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 505 号	氏名	鳴瀬 智史
学位審査委員	主 査	池田 通	
	副 査	朝比奈 泉	
	副 査	筑波 隆幸	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1. 研究目的の評価</p> <p>本研究は口腔扁平上皮癌組織において血管新生因子である VEGF および mTOR/HIF-1α 経路の発現と臨床病理学的因子との関連について検討したものである。本研究は、今後口腔癌の新たな治療法・治療薬の開発に貢献でき、研究目的として十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>口腔扁平上皮癌における VEGF-A/C の発現と臨床病理学的因子との相関性、mTOR/HIF-1α 経路の機能、mTOR/HIF-1α 経路と VEGF との関連性について免疫組織化学染色にて検討した。症例は臨床的ならびに病理組織学的に十分検討可能な症例を用いた。染色に使用した生検材料も十分に評価可能なものを選択し、病理組織学的所見と免疫組織化学的所見を適切な統計学的手法を用いて解析した。以上の実験により mTOR/HIF-1α/VEGF 経路の発現と浸潤能、転移能および予後との関連性について確認でき、研究手法は妥当であった。</p> <p>3. 解析・考察の評価</p> <p>mTOR/HIF-1α/VEGF 経路は主に腫瘍増殖能と密接に相関していることが明らかにされた。増殖能との相関性がみられたのに対し、生存率との相関が明らかでなかったという結果については、他の因子が関与したためと考えられ、今後さらに検討する必要がある。</p> <p>本研究で得られた知見は口腔扁平上皮癌における mTOR 阻害薬の有効性を証明する上でも非常に有用であり、今後の口腔癌治療への応用へ大いに貢献できることが期待される。</p> <p>以上のように、本論文は口腔癌において mTOR-HIF-1α-VEGF 経路の発現と浸潤能、転移能および予後との関連性について明らかにしたもので、口腔癌の進展メカニズムの解明や治療法の開発に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値すると判断した。</p>			